

国際自動車コンプレックス研究会 第13年次 活動概要 (2010.10~2011.9)

本年度は、①交流活動、②事業活動、③広報活動を行った。概要は、以下の通りである。

① 交流活動

研究会会員への情報提供、会員相互の情報交換の場として、第12年次報告総会、第33回研究交流会、第34回研究交流会、第35回研究交流会を実施した。具体的には、総会では経済変化や環境重視の中で変化し続ける国際的な港湾の状況と戦略について記念講演会を開催した。33回研究交流会では、中部国際空港の動向について講演を行い、三河港地域の国際連携について検討した。第34回研究交流会は、東日本大震災の経験を踏まえ、東海地震などの三連動地震が予想されている三河港エリアでの地域や産業のあり方を検討した。第35回研究交流会は、次世代自動車分野の産業振興に向けた施策の最新動向ならびに次世代自動車の開発事例についての講演を行い、新たな自動車産業の動向について情報収集・意見交換を行った。

表 総会・研究交流会の内容一覧

第12年次報告総会 2010.12.20 名豊ビル 参加者：59名	記念講演	「世界の港湾の現状と日本の港湾政策」 国際港湾協会 (IAPH) 事務総長 成瀬 進 氏
第33回研究交流会 2011.3.2 名豊ビル 参加者：50名	講演	「中部国際空港と東三河地域」 中部国際空港株式会社 執行役員 上用敏弘 氏
第34回研究交流会 2011.8.1 名豊ビル 参加者：118名	報告 話題提供1 話題提供2 話題提供3	「新聞報道にみる東日本大震災とその影響」 社団法人東三河地域研究センター 常務理事 金子鴻一 氏 「東海地域の地震・津波の想定の見直しと対応方向性について」 豊橋技術科学大学 教授 青木伸一 氏 「東三河地域における地形的基盤と大規模地震災害」 愛知大学 名誉教授 藤田佳久 氏 「東三河広域地震防災体制に関する基礎的検討」 豊橋技術科学大学 教授 河邑 眞 氏
第35回研究交流会 2011.9.29 名豊ビル 参加者：43名	講演1 講演2	「次世代自動車地域産学官フォーラムの取り組みについて」 経済産業省中部経済産業局 次世代自動車室長 亀井敏之 氏 「自然エネルギーを利用した電気自動車開発の取り組みについて」 有限会社ハマ零 代表取締役社長 山脇 一 氏

研究交流会と同様に、視察会を行った。陸上の重要な交通インフラである新東名高速道路の建設現場である本宮山トンネルおよび佐奈川橋工事現場の視察を7月に行った。9月には、リニモ貸切乗車体験とトヨタ博物館見学を行った。

表 視察会の内容一覧

視察会1 2011.7.26 参加者：48名	訪問先	新東名高速道路建設現場 ・本宮山トンネル工事現場 ・佐奈川橋工事現場
視察会2 2011.9.8 参加者：23名	訪問先	・リニモ貸切乗車体験 ・トヨタ博物館

② 事業活動

三河港地域の活性化を図るとともに、全国各地から輸入自動車愛好家の誘致や自動車文化の発信を行うことで、自動車メーカーのホームタウンである三河港地域を広くPRし、自動車のホームタウンづくり事業に協力した。



写真 「New Beetle. Festa 2011」 (2011.5.14 ラグーナ蒲郡)

③ 広報活動

ニューズレターを5回発行 (vol. 35は第12年次事業の第32回研究交流会を掲載しているが、発行は今期になったため、本報告書に掲載している) し、国内関係機関への情報提供を行った。

また、国外、国内地域からの港湾視察に対応して、地域状況、計画内容、研究会活動などの説明を行った。



写真 ウェストバージニア州政府日本代表事務所駐日代表および
在日米国商工会議所の三河港視察 (2011.3.9)